

ラフマニノフ
生誕150年記念

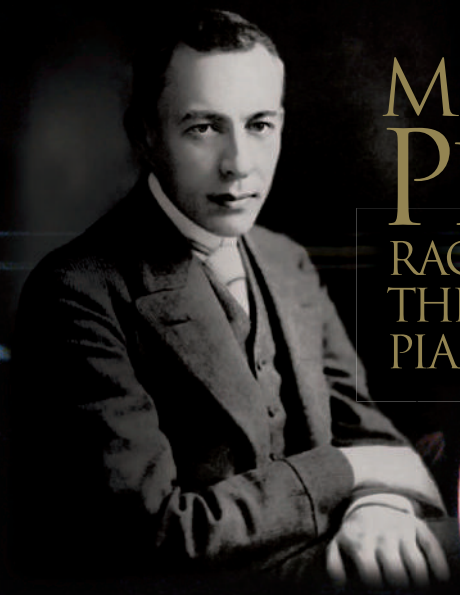
ミハイル・プレトニョフ

ラフマニノフ ピアノ協奏曲全曲演奏会

2夜連続
公演

ロシアピアノイズムの巨匠が放つ
陶酔のロマンティズム

MIKHAIL
PLETNEV
RACHMANINOV
THE COMPLETE
PIANO CONCERTOS



ミハイル・プレトニョフ (ピアノ)
Mikhail Pletnev, Piano

高関 健 (指揮)
Ken Takaseki, Conductor

東京フィルハーモニー交響楽団
Tokyo Philharmonic Orchestra



© K. Miura

© 上野隆文

© Rainer Maillard / DG

<第一夜>

2023年9月13日(水) 19:00開演 (18:20開場 / 21:00終演予定)

ラフマニノフ Rachmaninov
ピアノ協奏曲第1番 嬰へ短調 Op. 1
Piano Concerto No.1 in F-sharp minor, Op.1

ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 Op. 18
Piano Concerto No.2 in C minor, Op.18

7:00 p.m., Wednesday, September 13, 2023 at Tokyo Opera City Concert Hall

<第二夜>

2023年9月21日(木) 19:00開演 (18:20開場 / 21:00終演予定)

ラフマニノフ Rachmaninov
ピアノ協奏曲第4番 ト短調 Op. 40
Piano Concerto No.4 in G minor, Op.40

ピアノ協奏曲第3番 ニ短調 Op. 30
Piano Concerto No.3 in D minor, Op.30

7:00 p.m., Thursday, September 21, 2023 at Tokyo Opera City Concert Hall

東京オペラシティコンサートホール

京王新線「初台駅」
東口(直結) 徒歩5分

セット購入がお得!!

(9/13・9/21) S席2夜セット券
¥25,000

S: ¥15,000 A: ¥12,000 B: ¥9,000 C: ¥5,000

ジャパン・アーツびあオンラインチケット発売 2月25日(土)
3月4日(土) 前売開始

*チケット料金には消費税が含まれております。

*学生席および特別割引についての詳細は裏面をご覧ください。

*先行発売などで満席になった席種は、以降発売されない場合がございます。

*Sセット券はジャパン・アーツびあのみで販売

お申込み ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

チケットびあ t.pia.jp (Pコード: 237-956)

イープラス eplus.jp

ローソンチケット l-tike.com (Lコード: 34924)

【主催】 ジャパン・アーツ

【共催】 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団

【協力】 KAWAI / 東京フィルハーモニー交響楽団

いまラフマニノフを聴くならプレトニョフ、と言い切ってしまいたい。もっとも色彩的で、最高にエレガントなロマンティズム。その超絶技巧は折り紙付きだが、それをあからさまに誇示しないのもプレトニョフの美学だ。ほかの演奏家なら肩を怒らせバリバリと弾く難所でも、彼はふわりと飛び越えてしまう。柔らかな光を帯びた音色で。しかも、今ここで生まれたような即興性、自由ささえ伴いつつ。まさに、甘美なる桃源郷に迷い込んだ心地だ。そのスタイルは、古い録音で聴くことができるラフマニノフ本人の演奏とも通じ合うものがある。

ラフマニノフの生誕150年を迎える今年。この作曲家ならではの情感が香り立つ音楽の数々が、世界各地で響きわたる。そのなかでも、2夜にわたってプレトニョフがすべてのピアノ協奏曲を弾くこの演奏会は要注目だ。

プレトニョフによって、4つの協奏曲のそれぞれの個性も存分に引き出されることだろう。第1番のみずみずしいピアノリズム、第2番での陶酔的にしてスケール感ある音楽。ゴージャスなオーケストラ・サウンドの上でピアノの技巧が煌めく第3番に、モダンな装いのなかに成熟したロマンティズムが華開いた第4番。

オーケストラは、現在プレトニョフが特別客演指揮者に就き、気心も知れた東京フィルというのも頼もしい。高関健の指揮による密度の濃いアンサンブルが、あてやかな音色を引き出ししてくれるはずだ。

鈴木 淳史 (音楽評論家)



© Mat Hennek / DG

ミハイル・プレトニョフ (ピアノ) Mikhail Pletnev, Piano

プレトニョフは、ピアニスト、指揮者、作曲家、とそれぞれの分野において並外れた才能を発揮し、世界中の観客を魅了している芸術家である。1957年、音楽家の両親のもと、ロシアのアルハンゲリスクに生まれ、幼少の頃から音楽に非凡な才能を示す。カザンで育ち、13歳で中央音楽院、1974年モスクワ音楽院に入學。ヤコフ・フリエール、レフ・ヴラセンコに師事した。1978年、21歳でチャイコフスキー国際コンクール・ピアノ部門においてゴールド・メダル及び第1位を獲得。これにより早くも世界的に認められる存在となった。驚くべき技巧、深い知性に裏づけられた演奏、完璧にコントロールされた美しい音色で、カリスマ的人気を誇る現代最高のピアニストの一人として活躍。1988年、ワシントンで開かれた先進国首脳会議で演奏したことが、ミハイル・ゴルバチョフとの関係を築き、その後彼が自由な音楽活動を行う契機ともなった。1990年、ロシア内外の個人、会社、財団等の支援によって資金を得、オーケストラ、ロシア・ナショナル管弦楽団(RNO)を創設。彼の舞台芸術ヴィジョンに賛同して、国内の多くの優れた音楽家たちがこのRNOの始動に参加。そして彼のリーダーシップのもと、RNOは数年のうちに世界有数のオーケストラとして認められるようになった。客演指揮者としてもロイヤル・コンサート・ボウ管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団をはじめとする数々のオーケストラを指揮。2011年2月13&14日にはドレスデン空爆記念日演奏会にてドレスデン国立歌劇場管弦楽団を指揮し、ブラームスの「ドイツ・レクイエム」を演奏した。またボリショイ・オペラにおける「スペードの女王」の指揮で大成功を収めているほか、コンサート形式のオペラ指揮も行っている。2015年より東京フィルハーモニー交響楽団の特別客演指揮者に就任。作曲家としては、「Classical Symphony」、ジャズ組曲、ヴィオラ協奏曲、ほか数多くの作品を発表し、近年ではスティーヴン・イッサーリスのために書いたチェロ・ソナタが大成功を収めている。2022年、プレトニョフは新たなオーケストラ、ラフマニノフ国際管弦楽団(RIO)を創設、東西ヨーロッパの優れた音楽家がスロヴァキアのブラティスラヴァに集まり、最初のレコーディングを行った。今後多くのレコーディング・プロジェクトおよびコンサート・ツアーが予定されている。



© K. Miura

高関 健 (指揮)

Ken Takaseki, Conductor

サンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会で聴衆や楽員から大絶賛を受けるなど海外への客演も多く、マイスキー、パールマン、クレーメル、ブーレス等の世界的ソリストや作曲家、特にアルゲリッチからは3回の共演を通じて絶大な信頼を得る、緻密なスコアの分析からスケールの大きな音楽を作りだす名匠。

国内主要オーケストラで重職を歴任し、現在東京

シティ・フィル常任指揮者、仙台フィルレジデント・コンダクター(2023年4月から常任指揮者)、富士山静岡管楽首席指揮者。オペラでも新国立劇場やウラジオストクとサンクトペテルブルグでの團伊玖磨「夕鶴」、大阪カレジオオペラでのプリテン「ピーター・グライムズ」、新国立劇場公演ストラヴィンスキー「夜鳴きうぐいす」とチャイコフスキー「イオランタ」をなど指揮、作品の魅力を存分に伝えて高い評価を得ている。

1977年カラヤン指揮者コンクールジャパン、1984年ハンス・スワロフスキー国際指揮者コンクール優勝。第4回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第50回サントリー音楽賞受賞。NHK等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。

twitter.com/KenTakaseki



© 上野隆文

東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra

1911年創立、日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督ジョン・ミュンフン、首席指揮者アンドレア・パッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏で高水準の演奏活動を展開。海外公演も積極的に行い、高い注目を集める。1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている

オフィシャルウェブサイト <https://www.tpo.or.jp/>

《特別割引チケットのお知らせ》

(ジャパン・アーツびあオンラインチケット及びジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

◎学生席(全ランクの半額)：残席がある場合に限り、8月13日(日)10:00から受付を開始いたします。社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証を提示の上、ご入場下さい。(学生証がない場合、一般価格との差額をいただきます。)

◎シニア割引：65歳以上の方は、シニア料金(S¥14,000 A¥11,000)でお求めいただけます。

◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。必ず事前にご予約ください。(ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

《次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ》

①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合も再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の入場はご遠慮下さい。なお、就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等

の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場頂く場合がございます。⑩公演実施の可否は新型コロナウイルス感染状況を見極めて慎重に判断させていただきます。

Twitterでフォローする
@japan_arts